

第56回連絡協議会／合同協議会 議事録 (豊洲5丁目連絡協議会・豊洲5丁目地区開発協議会)		承認	検印	起票 110309 小山
日時	平成23年3月5日(土曜日)14:00～16:30 シェルタワー集会室			
出席	<港湾局地盤改良工事関係> 東京都港湾局 佐藤課長 澤田石、 (株)富士工 現場代理人 藪 重信 工事部長 奥田 隆章 豊洲5丁目地区開発協議会 町井、佐藤、小野 豊洲5丁目連絡協議会 メトロコープ第1豊洲:飯田理事長、 細見副理事長、近藤、小山 メトロコープ第2豊洲:釜谷副理事長、手塚 オーベルグランディオ:寺川顧問 グランアルト:前橋理事長、牧副理事長、 シェルタワー:山下理事長、田中マネージャー (計18名)	記録	小山	
議題	1 地域関係 (1)港湾局工事説明 (2)豊洲5丁目「街づくりマップ」の紹介 (3)豊洲新市場開発、見解書と都民の意見を聴く会について 2 町会化／自治会化の検討 (1)街づくり方法の検討 3 その他			
資料	「平成22年度豊洲五丁目防潮堤地盤改良工事 工事説明資料、および説明図面」「街づくりマップ(案)について」「豊洲新市場都民の意見書に対する見解書の要点抜粋」「豊洲5丁目コミュニティー形成方法についての検討資料」			

議題1, 地域活動関係

(1) 港湾局工事説明

【概要】

東京都港湾局からの要望により当該区域（豊洲新病院建設予定地）における地盤改良工事の担当者決定に伴う工事説明を実施。所定の説明、および質疑応答を行った。

【説明要約】

- ・ 今回の工事は当該地域を高潮、および地震による液状化対策の為の地盤改良を目的としている
- ・ 工期は3月から8月
- ・ 舗装版の撤去と深層の軟弱地盤の固定材による強度確保が主作業
- ・ 大型の工事車両は一日最大 15～20 台。ルートは前の工事と同じ。メトロ第2交差点方向は出来るだけ利用しない
- ・ 車両通行等細かい調整については、4月に江東区主催で発足が予定されている工事連絡協議会に従う

【質疑応答】

- ・ 必要な工事と理解しているが、ちょうど窓を開ける時期にあたる。いつもそうなのだが、工事時期の調整可能になるよう、もっと早く説明が行われるようにしてもらいたい。

- 今後留意する。今回にあたっては夏の時期には一番遠いエリアの工事を行うように工夫する
- ・ 前段階の工事と同じような体制なのでこちらからの要望も同じことになる。これらの引き継ぎはされておられるか？
 - 議事録等で情報は得ている。ゲート付近の車両誘導員の位置も心得ている。ほこり対策も充分留意する。

【結果】

本工事の実施について了解した。

(2) 豊洲5丁目「街づくりマップ」の紹介

【概要】

開発協議会から豊洲五丁目地区景観ガイドライン（案）に対し、現状がどうなっているかを示した調査レポート「街づくりマップ（案）について」が提出、紹介された。

【説明要約】

- ・ 3つの景観拠点と6つの景観軸に沿って「ペーブメント（舗装）」「植栽」「照明」「サイン」の実体をまず調査した
- ・ 「ペーブメント」については芝生が踏み荒らされない工夫が一部においてみられる
- ・ 「照明」については街路灯がほとんどなく景観的には好ましいが、すでに一部で指摘を受けている照度不足が課題となる
- ・ 「サイン」は概ねシックな色合いが多く、ほとんど独立看板であった
- ・ 今後も引き続きこのような調査を実施し、景観デザイン検討の為の基礎資料として拡充を図る

【質疑応答】

- ・ 自分の住んでいる地域がどうなっているか意外と知らないもので、何となく思っていることと実際とは結構異なるものである。正しく把握するためにはこのような客観的な資料が不可欠。非常に有意義であり助かる
- ・ プライムスクエア脇の柵状のペーブメントのデザインが芝生保護であったと初めて分かった。しかしピッチが荒くて歩きにくい。靴が引っかかって人によっては転倒の危険もあるかもしれない。もう少し工夫が必要か？
- ・ 植栽については以前から提案しているように、一般の方にも参加していただくプロジェクトを組みたい

【結果】

今後とも継続して調査検討を進める

(3) 豊洲新市場開発、見解書と都民の意見を聴く会について

【概要】

豊洲新市場開発の手続きとして、現在都民の意見とこれに対する都の回答をまとめた見解書の縦覧が行われている。当連絡協議会から提出した意見に該当する部分を抜粋したので、これを参考資料として提出する。

【説明要約】

- ・ 当方で要求しているのは待機車両を発生、および交通量の増加に伴う騒音／排ガス／振動の防止のための具体策である
- ・ しかし回答では12月の説明会の回答と全く同じく、待機車両については市場内の施設拡充と業者の指導、交通量は道路網の整備により緩和されるという、推測レベルのものでしかなかった
- ・ 数年もまえから同じことの繰り返しで少々嫌気がさしてきたが頑張ってる
- ・ 実績作りのために意見を聴く会出席の申込をする

議題2、町会化／自治会化の検討

(1) 街づくり方法の検討

【概要】

小山より提出された「豊洲5丁目コミュニティ形成方法についての検討資料」をもとに、今後の方針を検討した。

【説明内容】

- ・ 規約案を作成してすでに3年を経、この間メンバーの入れ替わりや審議中断が長引いたことなどにより、コミュニティのイメージがぼけてしまった
- ・ 今回あらためて原点にもどり、なぜコミュニティの形成が必要なのか、またその形態はそのようなイメージがふさわしいのかを皆さんで考えたい
- ・ 設立目的、および目的達成の為の問題点の説明（資料のとおり）
- ・ 様々な問題を踏まえた上で、4案の組織形態を考えてみた
- ・ 第1案は都営団地自治会も含め、当初計画通りの登録団体を作る。ただしイベントなどは豊洲町会に従う。このために何らかの方法で協賛する
- ・ 第2案は第1案から都営団地自治会を除いたイメージ。ただし連絡協議会として今までと変わらぬ連携を継続する
- ・ 第3案は独自での登録団体は作らず、管理組合個々で豊洲町会に加入し、豊洲町会からの資金を得て連絡協議会を運用する。豊洲町会から提案された案
- ・ 第4案は任意団体のまま運営を継続する。横浜の若葉台住宅管理組合協議会を参考。但し災害時の行政対応など不明点あり。現在確認中
- ・ 登録団体の設立に関してまちづくり推進課に相談する。3月15日にアポをとった

【質疑応答】

- ・ 健全なコミュニティの形成はタウンマネジメントの視点で重要。街の資産価値向上につながる
- ・ 賃貸の団地組織が自動的に登録団体になり、不動産を持っているマンションが登録団体になれない。同じ区税を払っている同じ区民なのに不公平
- ・ こうとう区報では町会自治会の加入を強く進めている。しかしマンションに対しての手引きが全くない
- ・ マンション管理組合として災害対策の支援を要求したところ、いざとなったら隣の都営さんから貸してもらえ、といった全く非現実的なことを言われ、あきれたことがある
- ・ コミュニティを深める為にはイベントなどの行事が欠かせないが、資金やスタッフが

必要。そこで5丁目全体での防災訓練はどうか

- ・ 第3案は拙速に形を取りつくろうことだけに見え、主体性を感じない。情報の流れもどうなるのか不安
- ・ 第1案と第2案は都営さんの意向次第。第2案のイメージはきれい。各々の立場を緩いくくりで統合することは評価できる。

【結果】

登録団体設立の条件として、次の項目について江東区に相談することとした。

- ・ 住民個々の任意加入ではなく、管理組合の総会決議によるマンション単位での加入を認めて欲しい
- ・ 災害時はもとより任意団体でも登録団体と同じ扱いがえられるか（様々な会合などの開催案内。近接住民間の情報交換に重要）
- ・ 区からの委託業務について当面の間、免除可能か

議題3, その他

- ・ さくらカフェ7日より通常営業
- ・ 1丁目ポンツーンで22日から水上カフェオープン

次回開催予定 : 4月 2日(土) 13:00~15:00 場所:メトロコープ第2豊洲集会室
お花見予定 : 4月 2日(土) 15:00~

以上